

# J A M 政策NEWS

2004年4月8日 第2004-19号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

## 民主党・年金改革推進法案提出

連合「考え方は基本的に同じ」

民主党は、7日のネクストキャビネット（次の内閣）で「年金抜本改革推進法案」を確認し、9日の衆議院本会議で趣旨説明を行うことになりました。

民主党案は、現在別々になっている国民年金や厚生年金、公務員の共済年金を2009年に一元化し、税を財源に高齢者等の基本的生活を保障する「最低保障年金」と、納めた保険料に応じた「所得比例年金」とを組み合わせた2階建て制度を創設すること等を明確に打ち出しています。

連合の草野事務局長は、談話の中で、「民主党案は、連合の考え方と基本的に同じとすることができる。これにより、政府案がその場しのぎの数字あわせにすぎないことが明確になる。」

と述べました。

明日はJAMデー

政策ニュース 17でもお知らせしましたが、4月9～10日、JAMは東京で「年金改革要求実現・やっつろー活動」を実施します。9日は要請行動、国会前座り込み、街頭宣伝行動を行います。さらに、JAM傍聴団が衆議院本会議と衆議院厚生労働委員会を傍聴します。10日は1000人規模で「真の年金改革要求実現・やっつろー総決起集会」を開催します。

政府案を撤回して、

公的年金制度の抜本改革を！！

### 連合「民主党・年金抜本改革推進法案提出についての事務局長談話」要旨

1. 民主党案は、名称で「高齢期において国民が安心して暮らすことのできる社会を実現するための公的年金制度の抜本改革を推進する法律案」であることを謳い、抜本改革先送りの政府案との違いを明確にしている。また「目的」では、年金制度改革に関する基本理念・基本方針を定めるとともに、年金制度改革の調査会を設置することにより、国民的合意にもとづく制度改革を推進することを明らかにしている。
2. 民主党案の最大の特徴は、現行制度に替わる新たな制度体系を提起していることで、「最低保障年金」と「所得比例年金」の2階建て方式となっている。保険料は所得等の額に一定の保険料率を乗じたもので、現行料率を基本に定めるとしている。  
最低保障年金について、民主党案は所得比例年金の支給額等に応じて減額するという点で連合案との違いはあるものの、税を財源とする1階と報酬比例による2階という「2階建て」としている点で、連合の考え方と基本的には同じとすることができる。
3. 民主党案の国会提出によって、年金改革はようやく本格審議に入る。制度体系見直しの方向が具体的に提起されたことによって、政府案が抜本改革に何ら触れようとせず、その場しのぎの単なる数字あわせにすぎないことが一段と明確になるであろう。  
われわれは、政府案の撤回と年金制度の抜本改革に向けて、民主党や社民党と院内外の連携を強めるとともに、4月9日の院内集会の開催をはじめ、職場・地域からの行動をさらに強めていく決意である。